

学校関係者評価結果と今後の改善策

1 学校関係者評価結果

<評価の目安>

4…とてもそう思う 3…少しそう思う 2…あまりそう思わない 1…まったく思わない

番号	評価項目	評価結果
1	学校教育目標、めざす児童像、めざす教師像は適切である。	4.0
2	「【知】学ぶ子」を踏まえた教育活動を展開し、成果が見られた。	4.0
3	「【徳】思いやる子」を踏まえた教育活動を展開し、成果が見られた。	4.0
4	「【体】たくましい子」を踏まえた教育活動を展開し、成果が見られた。	4.0
5	「【絆】安心・安全で開かれた学校づくり」を踏まえた教育活動を展開し、成果が見られた。	4.0
6	保護者や児童アンケート、教職員による評価の結果を踏まえた経営の改善を行っている。	4.0
7	保護者や児童アンケート、教職員による評価の結果を踏まえた次年度へ向けた改善方策（案）は適切である。	4.0

2 今後の改善方策

「学ぶ子」について、児童を主体とした授業づくりに向けて研修の充実を図ります。また、児童が自らの課題をもとに主体的に学びに向かえるように、「自主学習コーナー」について個に応じた指導支援の充実に努めます。また、「本に親しむ」活動の充実に向けて、一人一人が自分で読む量の目標を決めて取り組むとともに、「親子読書」で、家庭においても本に親しむことができるように呼びかけていきます。

「思いやる子」について、自分や友達の良さがわかり、認め合えるように、行事を実行委員が中心となって計画運営したり、縦割り活動を充実させたりして、自己有用感を高められるようにしていきます。また、教師の認める声掛けを増やしたり、道徳授業の充実に努めたりしていきます。

「たくましい子」について、ロング昼休みを確保するとともに、年間として行う業間マラソンを継続したり外遊びを推奨したりして、教科体育だけではなく、体力面での向上を図ります。さらに、保健だよりの発行や保健ウィークの設定などにより、児童一人一人が心身ともに健康な生活が送れるように努めます。

「安心・安全で開かれた学校づくり」について、安全な登下校に向けて、保護者、地域の協力を得て行っている交通指導等を継続していきます。校門門扉の完成に伴い、登校後は門を閉め、児童の安全に配慮した教育活動を行っていきます。また、毎月行う教育相談アンケートに加え、生徒指導主任を中心とした体制を整えることで、早期発見、早期対応に努めていきます。そして、教職員の共通理解をさらに徹底することで、児童一人一人が安心して学校生活を送れるように努めます。